

NPO法人 口から食べる幸せを守る会

第 95 回 KTSM 実技セミナー in 兵庫

食事サポーター講座 & KT バランスチャートを用いた包括的食支援スキル



【開催報告】

● 開催目的

厚生労働省の報告では 70 歳以上の割合が 20.7%に上昇し、高齢化がさらに進んでいる。様々な疾患による嚥下機能障害に加え、加齢に伴う影響、薬剤の影響など、複合かつ複雑化した嚥下機能障害により、食べたいと願うが食べることを禁止されている現状がみられる。また、食べる機能があっても、十分な食支援がなされず苦しんでいる当事者やご家族が多くみられ、医療・介護・福祉での食事支援の充実、スキルの向上が急務となっている。今回、包括的視点での評価からアプローチへのつなげ方を学ぶと同時に、安全安楽なポジショニング、早期経口摂取につなげるベッドサイドスクリーニング評価、安全で効率的、自立を目指した食事介助など、口から食べるために必要なスキルの習得をし、地域での食べる支援の充実を目的として、講義と実技演習などを組み合わせた研修を開催しました。

- ・ セミナー受講者は KTBC 展開を通して、口から食べることをサポートするための包括的スキルを理解し、患者や家族の食べる幸せを支援できるように、自らが展開できると共に、関係者へ教育的啓発ができることを目指す。
- ・ 早期経口摂取開始のためのベッドサイドスクリーニング評価や、安全で効率的な食事介助技術のスキルアップが図れることを目指す。

● 会期：2019 年 12 月 1 日（日曜日） 10 時 00 分～ 16 時 30 分

● 会場：神戸医師会看護学校

兵庫県神戸市西区学園西町 4 丁目 2

● 受講者数：56 名

● 主催：NPO 法人 口から食べる幸せを守る会®

● プログラム概要

1. 食事サポーター講座：美味しく食べ続けたい！あなたも食事サポーターになって食べたいを支えよう【講義】

2. 口から食べることをサポートするための包括的スキル～KTバランスチャートの活用と支援～【講義】
3. 安全に食べるためのポジショニング
4. 早期経口摂取開始にむけたベッドサイドスクリーニング評価【演習】
5. 安全で効率的な食事介助方法【演習】
6. 車椅子での基本姿勢、セルフケア能力を高めるための食事介助【演習】
7. 全体のまとめ及び質疑応答

● 担当講師およびアドバイザー

敬称略

氏名	所属
小山 珠美	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長 JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院
竹市 美加	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 副理事長 訪問看護ステーション 食べる
一瀬 浩隆	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事 あい訪問歯科クリニック
金 志純	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事 社会福祉法人鶴風会 東京小児療育病院
高橋 瑞保	はちのへファミリークリニック
日方 久美子	大野記念病院

● お手伝いスタッフ

敬称略

- 三木 悦子 訪問看護ステーションたべる 事務
 今村 瞳 ナチュラルスマイル西宮北口歯科 歯科衛生士
 朴 あみ ナチュラルスマイル西宮北口歯科 歯科衛生士

● 研修風景

《安全に食べるために必要なポジショニング》

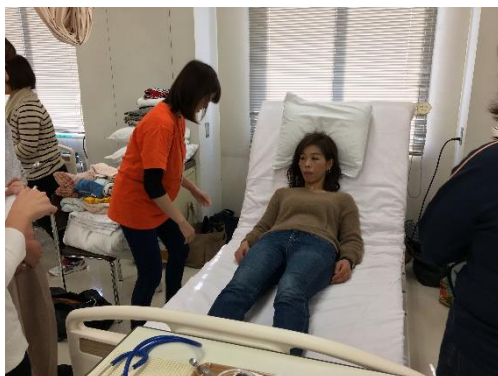
◎ベッドの寝位置の確認、挙上まえに体幹・足底の安定を図ることで、挙上時の苦痛・不安、姿勢の崩れが予防します



◎姿勢調整後は、全体と部分を評価し、安全・安楽に食べられる姿勢かを評価します



◎不良姿勢の体験を通して、ポジショニングの重要性を体感してもらいます



《早期経口摂取開始に向けたベッドサイドスクリーニング評価》

◎改定水飲みテスト

評価方法に加え、注水時に閉口を促す、評価食材の接地位置、水の入れる角度・位置・速度によって、飲み込みやすい、飲み込みにくいなどを体験し、良好な機能を発揮できる評価方法を学びました。

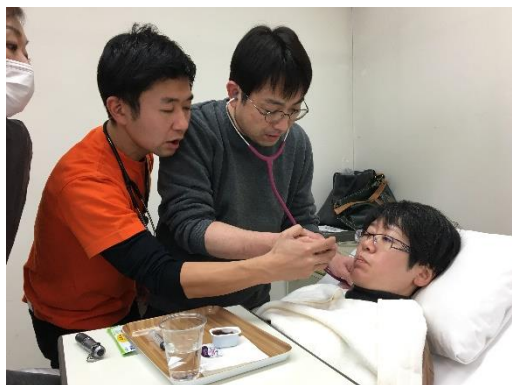


◎フードテスト

ゼリーをすくう位置やすくい方、嚥下時に再度視覚情報を入れることによって、食物認知が高まり良好な結果につながることを学びました。



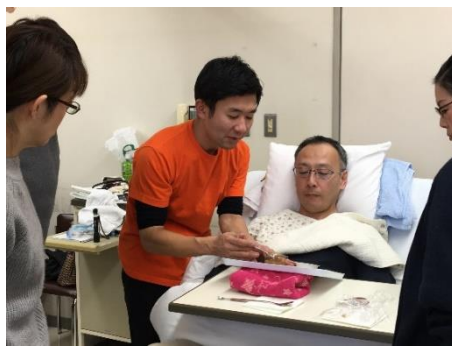
◎スプーンの挿入角度・位置など基本的なスプーン操作を体験しながら学びました。



《食事介助：全介助》

◎リクライニング角度 45 度での全介助

食事の置く位置やすくう位置など、視覚情報の入力による食物認知を高めます。



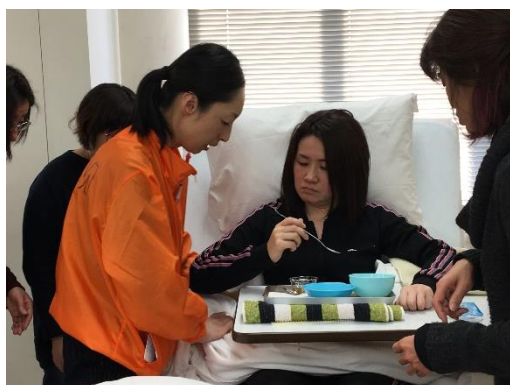
◎スプーン操作

舌と並行にスプーンを真っすぐ挿入し、舌背中央に接地、閉口を促しスプーンのホール部を上口唇を滑らせるようにスプーンを抜くことで、捕食・送り込みから嚥下につながりやすく、食べやすい介助を学びました。



◎ベッド上での一部介助

リクライニング角度 60 度での一部介助で、自力摂取につながるための、ポジショニング、上肢の位置や高さ、捕食動作のアシスト方法を体験しながら学んでもらいました。また、スプーンの柄の長さによつての違いも体験してもらいました。



《車椅子でのポジショニング（シーティング）》

◎座面の調整

車椅子の座面や背面シートのたわみを確認し、それによる影響、たわみの補正方法を学びました。



◎上肢や足底の安定、テーブルの位置や高さなど車椅子での食事環境を学びました。

◎食事動作の自立に向けた介助アシストの方法について学びました。



《集合写真》



参加者の皆様、ご参加いただきありがとうございました。セミナーでの学びを実践につなげ、「口から食べる幸せ」を広げていきましょう！！

会場を提供いただいた神戸医師会看護学校の先生方、ご協力いただきありがとうございました。

食べて幸せに暮らせる社会へ！！